

設定の考え方(国土強靱化地域計画 策定・改定ガイドライン R5年10月)

- 「めざす姿」は、地域の強靱化に取り組む全ての者の「共通の目標」
- 地域において発生する自然災害のリスクを踏まえ、地域の自然的・地理特性や社会的特性(地域の強み、地域の果たすべき役割等)が反映され、できる限り具体性を持ったものとするのが重要

めざす姿(事務局案)

1案 (出展:新たな北海道総合計画の「めざす姿」)

**北海道の力が日本そして世界を変えていく
一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る**

長所:新たな総合計画のめざす姿と整合を図ることができる。

短所:総合計画は広範囲の事柄をカバーするものとなっているが、強靱化計画では、自然災害のリスクを踏まえるものとされており、受け持つ範囲が違う。

2案 (出展:新たな北海道総合計画の「施策展開の基本方向」)

様々な自然災害リスクに対応し安全・安心で強靱な北海道

長所:新たな総合計画から、最も関係がある項目を抜粋しているので総合計画との関連が分かりやすい。

短所:自然災害リスクを踏まえている点は、ガイドラインに則しているが、北海道の強みや果たすべき役割について反映できていない。

3案 (出展:北海道強靱化計画の「副題」)

安全・安心な北海道をつくり、国全体の強靱化に貢献するバックアップ機能を発揮する

長所:前回改定時の有識者懇談会で設定された「副題」であり、自然災害リスクを踏まえた北海道の強みや果たすべき役割が反映されており、ガイドラインにも則している。

短所:新たな総合計画との関連が、本文を読めば分かるものの、直接的には分かりづらい。